


プロフィール

<p>■ 氏名 多賀俊二 (タガシュンジ)</p>	
<p>■ 現職 草の根金融研究所「くさの一ね」代表、中小企業診断士、准認定ファンドレイザー、貸金業務取扱主任者 一般社団法人ソーシャルビジネス・コンサルタントグループ 代表理事 全国NPOバンク連絡会 常任理事、事務局 特定非営利活動法人 アジア太平洋資料センター アドバイザー 特定非営利活動法人 こがねい市民発電 監事 特定非営利活動法人 アーユス仏教国際協力ネットワーク 監事</p>	
<p>■ 学位 ファイナンス修士 (早稲田大学)</p>	
<p>■ 学歴 2017年 早稲田大学大学院ファイナンス研究科 専門職学位課程修了 1997年 京都大学法学部 卒業 1984年 広島大学附属高等学校 卒業</p>	
<p>■ 職歴 2016年 草の根金融研究所「くさの一ね」を、個人事業主として開業 2016年 一般社団法人 全国労働金庫協会 退職 1991年 社団法人(当時) 全国労働金庫協会 入職</p>	
<p>■ 委員歴 なし</p>	
<p>■ 受賞 なし</p>	
<p>■ 執筆</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「ソーシャルファイナンスの現状と信用組合への期待」(全国信用組合中央協会「しんくみ」2018年1月号より6月号まで連載終了)・ 「地域のエネルギーミックス 市民発電事業の進め方」(同友館刊「地方創生とエネルギーミックス—エコシティ、スマートシティの活用事例」(2016年7月、波形克彦・小林勇治編著)第5章)・ 「コミュニティ投資、クラウドファンディング」(社会的責任投資フォーラム(現日本サステナブル投資フォーラム)刊「サステナブル投資年報2015」(2016年4月)第4章第2節)・ 「NPOバンクは『受け皿』足りうるか」(金融財政事情研究会刊「金融財政事情」2010年6月21日号掲載)	
<p>■ 講演・口頭発表等</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「世紀を超える志金の力～地域に志金循環を起こす意義と課題～」(2018年2月11日、「結イレブン vol.50 特別篇」)・ 「NPOの資金の現状」(2016年11月26日、みやぎNPOプラザ(仙台市宮城野区榴ヶ岡)、宮	

城県（みやぎNPOプラザ）主催「みやぎNPOプラザ開館 15 周年フォーラム『市民社会への創造～未来を拓くNPOであるために』」パネリスト)

- ・ 「日本におけるソーシャルファイナンス手法」（2016年7月23日、コンフォートタワーズ・イースト棟（東京都江東区東雲）、日本公共政策研究機構主催「第2回ソーシャル・ファイナンス研究会」)
- ・ 「疑似私募債を活かし成長する方法 ～データから読み解く活用のポイント」（2015年2月14日、国際ファッションセンター（東京都墨田区横網）、日本ファンドレイジング協会主催「ファンドレイジング・日本 2015」)

■ 所属学協会 等

- ・ 日本協同組合学会 会員（元常任理事、編集委員長）
- ・ 日本NPO学会 会員